

図書館資料展示

<東日本大震災から1年：復旧と復興に向けて>

—3.11 岩手・宮城・福島の新間記事から—

2011年3月11日の東日本大震災から1年以上がたちました。地震直後、東北沿岸の被災地域では、津波によって想像を絶する犠牲者・行方不明者が発生しました。1年後の現在、各地域で少しずつ復旧・復興が進められてきています。しかし、地盤沈下や原発事故による放射能汚染のためにまだ数多くの方が避難生活を強いられている状況は変わっていません。

立教大学図書館では、被災地からの情報を少しでも得るために、岩手・宮城・福島県で発行されている東海新報、岩手日報、河北新報、福島民友、福島民報、東奥日報（新座図書館のみ）を購入しています。1年後の2012年3月11日、12日に各紙が特集した記事を紹介いたします。これらの東北地方の新聞は、池袋図書館本館と新座図書館に設置されていますのでご利用ください。

立教大学としては、これまで学費免除や義援金募集のほか、夏季陸前高田支援ボランティア活動

（2011年8月）、家屋清掃などの「職員によるボランティア活動」（12月）、学生による「陸前高田子ども支援ボランティア」（2012年1月～3月）、司書課程学生による「陸前高田市立図書館復興支援ボランティア活動」（2月）、各種シンポジウムや講演会、また廃棄処分予定となった机・椅子の一部を被災地高校へ寄贈するなどの活動を行ってきました。関連した新聞記事、立教大学公式ホームページの一部を紹介いたします。

東日本大震災に関連しては、これまで非常に多くの図書や資料が出版・公表され、立教大学図書館にも多数所蔵されています。立教大学図書館のOPAC（蔵書検索システム）から「東日本大震災」のキーワード（件名）などで検索してご利用ください。



2012年3月11日、12日の東海新報、岩手日報、河北新報、福島民友、福島民報より

<展示資料>

1. 「東日本大震災から1年 吉岡知哉総長からのメッセージ：考え続けること、覚えておくこと
—1年目の3.11のために—」(立教大学ホームページより)
<http://www.rikkyo.ac.jp/news/2012/03/10550/>
 2. 「陸前高田：復興の芽吹き一つ一つ」『岩手日報』2012年3月12日
 3. 「県内高校生4人の追悼詩：女優小雪さん朗読」『福島民報』2012年3月12日
 4. 「悲劇の場、絶えない献花：天国の友へ詩」『福島民報』2012年3月12日
 5. 「復興へ人づくり学長、校長に聞く：若者をどう育てるか」
入戸野修(福島大学長)、菊池臣一(福島医大理事長・学長)、角山茂章(会津大理事長・学長)、
奈良宏一(福島高専校長) 『福島民友』2012年3月11日
 6. 「図書館復興へボランティア：立教大学生」『毎日新聞』2012年2月18日
 7. 「陸前高田市図書館：仮設が年度内開館：立大生ら分類奉仕」『岩手日報』2012年2月15日
 8. 「図書1500冊を整理：立教大生がボランティア」『東海新報』2012年2月24日
 9. 「立教大から机届く：磐城高OBが仲介」『福島民報』2012年4月3日
 10. 「(ソシテワスレズ@キャンパス) 立教スポーツ ふるさと福島県」
『朝日新聞：宮城県版』2012年4月6日
 11. 『時に海を見よ：これからの日本を生きる君に贈る』
渡辺憲司(立教新座中学校高等学校校長)著、双葉社、2011年6月
 12. 「18歳の君たちへ：東北の海を 感じに行こう」渡辺憲司 『朝日新聞』2012年3月6日
 13. ポスター「震災記録を図書館に」
(東北大学附属図書館、福島大学附属図書館、神戸大学附属図書館等)
- (立教大学公式ホームページより)
14. 「陸前高田市立図書館復興支援ボランティア活動を実施しました」
<http://www.rikkyo.ac.jp/news/2012/03/10540/>
 15. 「立教大学職員が陸前高田支援ボランティアを実施」
<http://www.rikkyo.ac.jp/news/2011/12/10169/>
 16. 「夏季陸前高田支援ボランティア活動」
<http://www.rikkyo.ac.jp/news/2011/09/9647/>